

世界のしあわせと SDGs ～第2回しあわせ研究所国際シンポジウム

研究員 土井 隆司



世界幸福デー*である2018年3月20日、本学有明キャンパスで、第2回しあわせ研究所国際シンポジウムが開催されました。

今回のテーマは「世界のしあわせと SDGs」。シンポジストとして国際連合広報センター広報官の妹尾靖子氏が SDGs について基調講演を、株式会社オルタナ総研所長の川村雅彦氏が日本企業の SDGs の取り組みを、本学の協定校であるタジキスタン国立言語大学准教授のラスロフ ギョス ッデエイン氏が同国と同大学での取り組みを、それぞれにご紹介いただき、最後に本学の取り組みについて私が発言いたしました。

SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)は、国連アジェンダ 2030 として2015年9月の国連サミットで採択されました。193か国が参加して持続可能な世界を実現するための17目標と169のターゲットで構成され、夫々の国が発展を目指す一方で、地球上の誰一人として取り残さないことを誓う内容です。

SDGsに関する日本の取り組みは、首相直轄で全国務大臣を構成員とする SDGs 推進本部(本部長は安倍氏、副本部長は菅氏)が設置されました。2017年度推進本部長賞は北海道下川町へ、また副本部長賞では5企業・団体が表彰されましたが、その中で金沢工業大学は実社会に生きる SDGs 教育をしたことが評価されました。2017年7月17日には岸田外務大臣が国連で日本の10億ドル規模の支援を約束する旨を表明しました。2017年度に経団連は SDGs 達成を目指して企業行動

憲章を改訂しました。会員企業のトップが率先垂範することを推奨し、企業評価に組み込まれるなどの活発な動きが出てきています。報道関係では、朝日新聞がパートナー企業となり、今年に入って毎週 SDGs に関する記事やイベントが掲載されています。吉本興業がお笑いで SDGs の告知拡大を行い、ピコ太郎氏も PR に参加しています。

このような SDGs ですが、本学もすでいくつかの取り組みに参画しています。社会連携センターが昨年2017年12月8日に「SDGsを活用して市民・企業・自治体で地域課題の解決」のセミナーを東京ビッグサイトで開催しました。グローバルコミュニケーション学科では3年生の必修科目 Global Project で取り組み約150人の学生が30チームに分かれて SDGs について学びました。内容は「世界の幸せをカタチにする」ために、SDGs17目標の中から1つを選び、自身の身近で実際に体験したり調べたことを提言としてまとめ発表することでした。約半年の活動成果は黎明祭で展示し来場者にチームごとに発表しました。次年度はグローバル学部の全3学科で SDGs プロジェクトを展開する予定です。

このような SDGs の取り組みを展開する中で UNAI: United Nations Academic Impact というプログラムに本学も2017年に加盟しました。

このように「しあわせ」に関して世界の注目が増す中で本学の掲げる「世界の幸せをカタチにする」を具現化する環境が整って来ています。今回のシンポジウムの最後に、「『世界の幸せをカタチにする。』の目的達成を目指して UNAI メンバーの誇りを持ち SDGs に取り組み、学生・職員・教員のチームワークで Musashino SDGs を学内外へ発信する!」との提言を発表しました。

※: 国連が定めた世界の155か国を対象にした幸福度ランキングで2017年度、日本は51位で昨年より順位を2つ上げた。1位はノルウェーだった。

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University Creating Happiness Incubation

武蔵野大学しあわせ研究所

電話: 03-5530-7730

東京都江東区有明3-3-3

メール: mhi@musashino-u.ac.jp